



申込概要

主な役割と費用分担

項目	iichiko 総合文化 センター	派遣先	備考
出演者	○		出演者にかかる費用（出演料・交通費）は iichiko 総合文化センターが負担します。
会場及び控室		○	会場使用料は派遣先側で負担をお願いします。 会場は調律、準備、リハーサルのため、 開演の3～4時間前から手配をお願いします。
ピアノ		○	会場所有のピアノを使用させていただきます。 ※可能な限り調律をお願いします。 ※アップライト可。 ※ピアノを使わないアーティストもいますのでピアノがなくても大丈夫です。
会場設営・準備		○	椅子を並べる等の設営や 出演者の楽器運搬などをお手伝いいただく場合があります。

※ 大分県立総合文化センター（iichiko 総合文化センター）の事業として実施していますので
告知チラシ等の主催表示は「主催：iichiko 総合文化センター」となります。作成の際は事前にご相談ください。

Q & A よくあるご質問

音楽家を指名できますか？

基本的には指名できません。
当センターより音楽家をご紹介します。

お祭りなどのイベントに来ていただくことはできますか？

このプログラムは、日常生活に音楽を届けることを趣旨のひとつとしています。
授業参観でのコンサートや地域のお祭り、敬老会等、イベントや催事への参加はお断りしています。

対象人数はどれくらいですか？

学校でいうと1クラス単位（40人前後）を対象としています。
人数が多い場合は複数回に分けて実施することも可能なのでお問合せください。

音楽に詳しくないのですが、一からご相談できますか？

心配ありません！ iichiko 総合文化センターのスタッフが全面的にサポートいたします。

応募方法

こちらの応募フォームからお申し込みください >>>



お問い合わせ

公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団
おでかけクラシックコンサート 係

〒870-0029 大分市高砂町 2-33 iichiko 総合文化センター内

TEL **097-533-4004** FAX **097-533-4009**（土・日曜、祝日をのぞく 10：00～17：00）

✉ kikaku@emo.or.jp



令和8年度
事業案内

i i c h i k o 総合文化センター アウトリーチ事業

おでかけ クラシックコンサート

公益財団法人
大分県芸術文化スポーツ振興財団

おでかけクラシックコンサート

とは？



「おでかけクラシックコンサート」は、普段はコンサートホールで活躍している音楽家たちがホールを飛び出して、大分県内各地の学校や施設などに“おでかけ”し、皆さんの「日常」へクラシックコンサートをおとどけするiichiko総合文化センターの大切なアウトリーチ（※）プログラムです。皆さんが過ごす“いつもの場所”で、“いつもの仲間たち”と音楽を体験・共有してほしいという思いからスタートし、2025年で活動開始から10年を迎えました。

「子どもたちに本物の音楽を聴かせたい」という学校の先生方や「日ごろ本格的なクラシック音楽に触れるチャンスが少ないので演奏に来て欲しい」という地域の方々にご活用いただき、生演奏によるミニコンサートや芸術に触れる機会をおとどけています。この10年の中で、実際に「学校にはない楽器を目の前で演奏してもらい、日常にはない体験ができた」「音楽を聴くことで想像力や思いやり、人間関係の大切さなどにも気付かせてもらった」「演奏者が解説などさまざまな工夫をしてくれたおかげで、普段あまり身近ではないクラシックを積極的に聴けた」「子どもたちの興味・意欲が広がった」…など、たくさんの声を寄せていただいています。



演奏するのは、このプログラムに必要なスキルと条件を満たした大分ゆかりの音楽家たち。県内外で活躍中の若手演奏家が、オーディションや専門家による研修、実践のためのリハーサルを重ね、丁寧に本番に向けた準備をしてきました。弦楽器、管楽器、打楽器にピアノ、和楽器、そして声…さまざまな楽器を奏でるアーティストたちがそれぞれの言葉と、心に響く上質な音楽で音楽の持つ多様な魅力をとどけます。音楽家の出演料・交通費は当センターが負担いたします。

この企画には、おとどけ先の会場で、皆さんと私たちが一体となり、芸術や文化のすばらしさをシェアできるしあわせな時間を紡いでいけたらという思いが込められています。私たちの趣旨に共感いただける方々から、たくさんのご応募をお待ちしております。そして、多くの場所で多くの方と素敵な時間が過ごせますようお願いしております。

こちらからも
詳細をご覧ください



WEB



YouTube

派遣先 | 県内小中学校、支援学校、公民館など公立施設

特別協賛：三和酒類株式会社

助成：一般財団法人 地域創造

※アウトリーチ = 地域の皆さんのもとへ芸術の持つ楽しみや喜びをおとどけする活動のこと

1

「日常」へ音楽をとどけます

クラシック音楽のプロの演奏家が、皆さんが普段生活している“いつもの場所”で生演奏を披露します。“いつもの仲間たち”と共有する生演奏の迫力・臨場感は貴重な体験となります。

2

少人数にこだわっています

マイクを使わずにリアルな声や音がとどく距離感を大事にしています。少人数で行うからこそその醍醐味があるので、40名前後でのお申込みを基本とします。人数が多い場合は、複数回に分けて実施できるか検討させていただきます。

3

音楽家は特別な研修を受けています

コンサートホールで開催される演奏会とは異なり、奏者はアウトリーチのための特別な研修を受けています。子どもたちや地域の皆さんの前で話と演奏ができるようにプログラムの組み立てや曲目の選定、絵本や映像を使用する工夫をしており、皆さんを飽きさせません。



4

わかりやすく解説します

楽器の構造・発声や作曲家の紹介、楽曲の成り立ちなど音楽にまつわる基本的知識を、実物を見せて実際に演奏してみせ、わかりやすくお話しします。

5

授業時間に合わせます

学校の授業時間1時限分（45分間程度）、40名前後の児童・生徒数に合わせたプログラムを作成しており、特別な時間割変更は必要ありません。

6

時間をかけてしっかりと準備をします

派遣が決まったら、人数や会場、目的に応じて個別にプログラムを考え、練習を重ねます。そのため実施は派遣決定後2か月後以降とさせていただきます。

以上の趣旨から、授業参観でのコンサートや地域のお祭り、敬老会等への派遣はお断りさせていただいています



事例 01

小学校 ①

アーティスト

まつもと ふゆき
松本 富有樹（クラシックギター）

曲目

J. ペルナンブーコ

鐘の響き

F. タレガ

アルハンブラの思い出

R. ディアス

タンゴ・アン・スカイ

フランス民謡・W.A. モーツァルト

きらきら星変奏曲

N. コスト

オートウィユの夜会

ほか



「昔の楽器で子どもたちを虜に」

全校児童わずか 16 名という湯布院町の小さな小学校におでかけクラシックコンサートをお届けしたのは、同町出身のアーティスト、松本富有樹さん。児童全員が揃った音楽室で、ミニコンサートが開催されました。

ギターといっても、いろいろな種類があります。松本さんはまずお馴染みのクラシックギターから弾き始めて、時代をさかのぼった19世紀ギターやバロックギターを次々に演奏。昔のギターを見たことがない子どもたちから「小さい！」「何か飾りがついているね」などさまざまな反応が飛び出し、それぞれがお気に入りの音色を見つけてくれたようです。松本さんの演奏の後は、代表の子どもに楽器体験もしてもらいました。

初めてお邪魔する場所ながら、「学年に関わらずみんなが互いの名前を知っている子どもたちの、和やかな雰囲気に迎えてもらった。自分が小学校時代の恩師にも再会でき、嬉しい1日でした」と、アーティスト自身もリラックスしながら滞在させていただき、素敵な音楽の時間を共有できました。



どんな音色が
響くかな…!?

さいごに
記念写真もパチリ



アンケートより

- 近くで弾き方や指の動かし方を見て、音の雰囲気が変わることを発見できた
- とにかく音色がきれいだった
- 同じギターだけど、楽器の種類によって変わることがわかった
- 初めてクラシックギターを聴いて、こんなに音がきれいなんだと思って、また聴きたいと思った
- 楽器の体験ができて、演奏の仕方や難しさを感じた
- 物に触れることの大切さを感じた（教員）
- 子どもたちに伝わりやすいように、分かりやすく話かけてくれてありがたかった（教員）
- 子どもたちが新たな発見に驚く表情がとても輝いていた（教員）



事例 02

小学校 ②

アーティスト

いと
絲 - ito - （津軽三味線 / 箏）
すずきとしえ さいとう みやび
鈴木利枝 / 齋藤 雅

曲目

北海道民謡

ソーラン節

宮城道雄

春の海

沢井忠夫

鳥のように

青森県民謡

津軽じょんがら節

鈴木利枝

華響き

ほか



アーティストと触れ合えるくらい
近い距離で音楽が聴けます

音楽の教科書の
五線譜とは
違うんだよ！

アンケートより

- ピアノなどとは違う、日本の音色の美しさを感じることができた
- 琴と津軽三味線でアニメやゲーム音楽が演奏できることに驚いた
- 琴の楽譜がピアノの楽譜と違うことを家族に伝えたい
- 弾いている人を観察できておもしろかった
- アーティストと児童の距離が近くとてもよかった（教員）
- 日頃聴くことや見ることがない楽器の演奏を目の前にした時の、子どもの驚きがとてもよかった（教員）
- とても分かりやすい説明で、楽器のことや曲のことが子どもの心によく届いたと思う（教員）
- 音楽や和楽器の可能性を身近で感じる機会となった（教員）



「音色を聴き想像を膨らませて」

登録アーティストの中で唯一“和楽器”を演奏する〈絲 -ito-〉のふたりが、大分市内の小規模な小学校におでかけしました。

海が見える小学校の音楽室で最初に弾いたのは、子どもたちもよく知っている、ノリの良い「ソーラン節」。その後、津軽三味線と箏を順番に独奏しながらそれぞれの楽器の弾き方や楽譜を披露し、和楽器ならではの特徴に関心を持ってもらいました。その際、子どもたちにはアーティストの周りに座ってもらい、間近で楽器の仕組みや音の響きを観察してもらいました。子どもたちがたくさん会話に参加してくれたのは、この距離の近さの賜物だと思います。

後半は、ゲーム音楽の演奏に大盛り上がり！最後は、小学校周辺の自然をイメージした〈絲 -ito-〉のオリジナルソングで締めくくり、音からどんな風景が思い浮かぶか？子どもたちは想像力を大いに膨らませながら楽しんでくれました。





事例 03

中学校①

アーティスト

うけぐち なこみ
筈口 和実 (ヴァイオリン)

曲目

V. モンティ
チャルダッシュ

E. エルガー
愛の挨拶

L. ドリーブ
ピッチカート

久石譲
千尋のワルツ

A. ビーチ
ロマンス作品 23

ほか

子ども用の
ヴァイオリンは
小さくて可愛いね！



アンケートより

- 「自分の将来の夢をあきらめずに進んでいけば夢は叶う」というメッセージを感じた
- 午後からの授業も頑張ろうという気持ちになった
- 演奏や話を聴いて前向きになった
- ヴァイオリンにもたくさん種類があることに驚いた
- 筈口さんがとても楽しそうで、こっちも楽しくなったし「次の曲が何かな」とワクワクした
- 子どもたちに「夢」やその過程についてエピソードも含めて伝えてくださったので、心に響いたと思う(教員)
- 「どこかに出かける」ことが簡単ではない子どもたちにクラシックを届け続けてほしい(教員)
- 生徒が演奏や演奏者に引き込まれていく様子を見てとてもいい時間だったと感じた(教員)



「経験や思いまで伝えたい」

森の中にある日田市の小中一貫校で、小学部・中学部を対象にミニコンサートを2公演行いました。

アーティストは、筈口和実さん。彼女は小さい頃からヴァイオリンを弾き続けており、iichiko グランシアタ・ジュニアオーケストラでも活躍していました。そんな彼女がこの日、中学部のために用意したプログラムは“私とヴァイオリン”がテーマ。「ヴァイオリンの魅力」や「ずっと続けている理由」など、一般的なコンサートではアーティストから語られることのない“想い”や“経験談”を伝えられることも、このコンサートの魅力の一つ。真剣に耳を傾けてくれた生徒たちが、いつか将来を考えるとときに少しでもその話を思い出してくれると嬉しく思います。

筈口さんは、ヴァイオリンの知識を深めてもらうためのクイズも準備。楽しく学びながら聴く本格的なクラシックコンサートは、2公演とも大いに盛り上がりました。



ヴァイオリンの伴奏に乗せて
みんなで一緒に歌を歌いました



事例 04

中学校②

アーティスト

いわた ことみ
岩永 琴美
(ユーフォニアム)

曲目

P. スパーク
英国の讃美歌による変奏曲

久石譲
風の通り道

小山和彦 編曲
「大きな古時計」の主題による変奏曲

高橋宏樹
ユーフォ・フォー・ユー

L. デンツァ
フニクリ・フニクラ
ほか



「一つの楽器から違う音が出る楽しさ」

ユーフォニアムという大きな楽器を演奏する岩永琴美さんが、コンサートをお届けしました。

コンサートの冒頭、音楽室にいたのはピアノ伴奏者だけ！ユーフォニアムの音は聴こえるけれど岩永さんの姿は見えず…隠れたところから登場することで、生徒たちの興味を一気に惹きつけました。

金管楽器では音を出すときにマウスピースを使います。それがあるときとないとき、または吹き込む息の強さによる音の違いを聴き比べてもらうことで、生徒たちは一つの楽器からさまざまな音が出せる面白さを間近で体感。演奏も大いに楽しんでくれました。



アンケートより

- いろいろな感情や想いのこもった曲をたくさん聴けてよかった
- 目の前まで来てくれてとても迫力があった
- 知っている曲や知らない曲があったけど、新しい発見がたくさんできた
- クラシック音楽をあまり聴いたことがなかったけど、とても楽しかったのでこれからも聴きたい
- とても温かい音色で、音楽は人の心を豊かにしてくれると感じた
- 近い距離で音楽を楽しむ贅沢な事業、今後も来校してほしい(教員)
- クラシック音楽の入口として、効果が大きい(教員)
- 映像で様々なものを見聞きできる中、本物に触れることで生の感性が育つと思う(教員)



事例 05

児童施設

アーティスト

かわの りな
河野里菜
(チェロ)

曲目

アンダーソン
プリンク・プランク・プルンク

バッハ
無伴奏チェロ組曲より 第1番「プレリュード」

サン＝サーンス
『動物の謝肉祭』より「白鳥」

三木たかし
アンパンマン

チェロリーナ
だるまさんラブソディー
ほか



「芸術は自由！思い思いに表現を」

0歳から小学生の子どもたちが過ごす発達支援センターにお届けした河野里菜さんのコンサートは、保護者の方々も同席するアットホームな演奏会になりました。

絵を描くのも得意な河野さんは、どんな年齢の子どもにも分かりやすいよう自作の絵を持参。チェロの音を動物に例えたり、絵本『だるまさんが』に合わせた曲を聴きながら身体を動かしてもらったり。続いて、聴いた曲からイメージした絵を子どもたちにも描いてもらったりと、音楽の枠にとらわれないクリエイティブな体験をたくさんしてもらいました。子どもたちの踊りや絵を見た河野さんも、「芸術は自由だ」とあらためて実感したようです。



アンケートより

- 子どもたちのすぐそばでチェロを演奏してくれる貴重な機会だった
- 動くことが大好きな元気のよいお子さんが、だるまの絵の前に立ってキラキラした瞳でじっと見入っている姿に感動した
- 普段、楽器に触れる機会があまりないので、生の演奏を聞けてとてもよかった
- 一般の会場では窮屈でなかなか聴くことができないので、子どもが慣れているいつもの場所に来てくれたことがありがたかった
- 肌で音を感じ、リズムに合わせることで、子どもたちの表情もよかった
- 子どもに馴染みのある絵本をテーマに演奏やお話を進めてくれてよかった



事例 06

公民館

アーティスト

アミティエ（フルート/ギター）
ふじたけいこ みぞぐちしんいち
藤田圭子 / 溝口伸一

曲目

中田喜直
夏の思い出

P.チャイコフスキー
葦笛の踊り

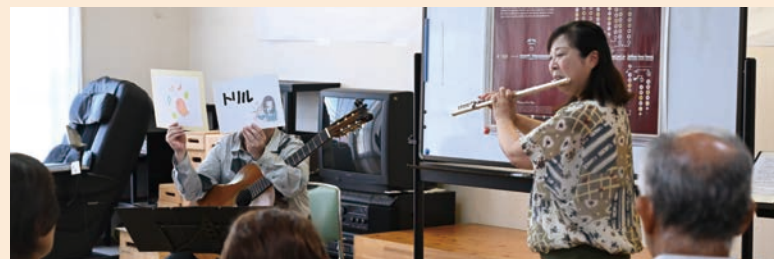
アメリカ民謡
森のくまさん

G.ビゼー
『カルメン』より間奏曲

J.ブラームス
ハンガリー舞曲 第5番

ほか

どんな感じの
音がしますか？！



アンケートより

- 遠くへ出かけることが難いため、近所に来てくれてうれしかった
- 演奏者を間近に見られたので、動きやしぐさなどを感じてとても楽しかった
- 小さな会場ならではの発見ができた
- 昔を思い出す曲もあり、心がスッとした
- 生演奏を聴く機会がなかなかないので感動した（職員）
- トークもとても分かりやすく、親しみを持てた（職員）



「お会いした皆さんとの会話も楽しみ」

普段、iichiko総合文化センターまでなかなか足を運べない地域の皆さんのもとへ、本格的な音楽をお届けするのがこの事業の使命の一つ。この日は、事業のスタート時から活動が続けているベテランのアミティエが、宇佐市の公民館にお伺いしました。

ただ曲を聴いてもらうだけではなく、途中で演奏に使われているテクニックの解説を交えながら、コンサートを展開。大人の皆さんをお迎えする演奏会では、アーティストが自分たちのことについてお喋りしながら、聴き手の皆さんと会話する時間も醍醐味。楽しそうな反応をしてくれる皆さんを前に、アーティストもついついお喋りに夢中になったようです。

アーティストたちは、コンサートごとに新しいプログラムを考えています。その度に、フルートとギターでお届けするアミティエならではのレパートリーが増え続けており、皆さんには、実はその貴重な演奏を聴いていただいています。

どのアーティストも
県内各地で音楽をおとどけするのを
楽しみにしています



ARTIST PROFILE

登録アーティスト プロフィール

専門家による研修を受けた14組20名のアーティストが所属しています（2026年2月現在）。

第1期は2015年～、第2期は2017年～、第3期は2019年～、
第4期は2021年～、第5期は2025年～活動しています。



第5期アーティストの演奏は
こちらからお聴きいただけます



第5期

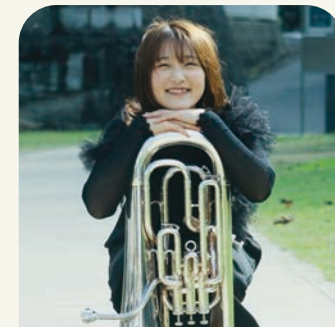
みなさまに津軽三味線と箏の
生の音を楽しんでいただきたいです！



いと
絲 - ito -
津軽三味線 / 箏

津軽三味線の鈴木利枝と箏の齋藤雅による和楽器デュオ。2022年よりデュオとしての活動を始め、和楽器の普及のため県内や九州を中心に様々な場所で演奏活動を行うとともに、各自の教室で指導をしている。伝統的な曲に加え、和楽器に親しんでもらえるようポピュラーな楽曲等も演奏する。和の弦楽器による2人組のため『絲 - ito -』と命名。

未知なるユーフォニアムの魅力を
おとどけます！音楽を通して
豊かな時間を共有しましょう♪



いわなが ことみ
岩永 琴美
ユーフォニアム

佐賀県出身。大分県立芸術文化短期大学管弦打コース、同大学認定専攻科を共に首席で修了。第3回日本国際音楽コンペティション第1位及び姫路市長賞を受賞。現在、フリーのユーフォニアム奏者として九州各地で演奏活動や吹奏楽指導を行っている。これまでにユーフォニアムを村岡淳志、上岡敏宏の各氏に師事。

ヴァイオリンの魅力と
音楽の楽しさを、笑顔いっぱい
お伝えします！一緒に楽しみましょう♪



うけぐち なこみ
笠口 和実
ヴァイオリン

大分県出身。京都市立芸術大学音楽学部弦楽専攻を卒業。これまでに河村雅絵、川瀬麻由美、豊嶋泰嗣の各氏に師事。大分を中心に演奏活動、後進の育成を行う。大分県立芸術文化短期大学オーケストラ演奏員、iichiko グランシアタ・ジュニアオーケストラアカデミー講師。箏、ヴァイオリン、チェロの三重奏「水無月」メンバー。

第4期

チェロの魅力、音楽のもつパワーを感じていただきたいです！一緒に音楽を楽しみましょう！



かわの りな

河野 里菜

チェロ



大分市出身。緑丘高校、芸短大卒業後、同大学専攻科修了。これまで白沢あいり、辛島慎一、田村朋弘、宇野健太の各氏に師事。現在、iichiko総合文化センタージュニアオーケストラ・アカデミー講師。ヴァイオリン、チェロ、琴で構成する「水無月」のメンバー。芸短大オーケストラ演奏員。また iichiko 総合文化センターアウトリーチ登録アーティストとして子どもたちを中心に音楽の楽しさを伝えている。

まだ知られていないギターの世界に触れていただけたらと思います



まつもと ふゆき

松本 富有樹

ギター



湯布院出身。パーゼル音楽院（スイス）修士課程を修了後帰国し福岡を拠点に演奏活動始める。古楽から現代曲まで幅広く演奏する。ルネッサンスギター、バロックギター、19世紀ギター、クラシックギターなど各時代のギターを使い分けて、ギターの音色の奥深さを届けている。第一回韓国国際ギターコンクール首席2位。2020年に1st アルバム「ロス・マエストロス」を発表。

音楽を通じてみなさんと繋がりたい音楽と打楽器の楽しさをたくさんお伝えしたいです



リアン デュオ

Lien duo

パーカッション



大分県立芸術文化短期大学出身の上村梨世、永岡真奈による2021年結成のパーカッションデュオ。鍵盤打楽器から教育用打楽器まで幅広い楽器を使い、福岡、大分を中心に、ホールや市民公民館などでの演奏活動を行っている。Lien とはフランス語で〈繋がり / 縁〉などの意味。目で耳で体で、一緒に楽しめるコンサートを目指している。

第2期

仲良し2人組 prism の息の合ったアンサンブル、ピアノとホルンの美しい響きをお楽しみください！みなさんに会えるのを楽しみにしています！



プリズム

prism

ホルン / ピアノ



ホルンの浮島小智とピアノの浅井史帆の仲良しデュオグループ。学生時代から2人で演奏活動を行っており、その後正式に prism を結成。王道のクラシックはもちろん、珍しい作曲家のおもしろい作品や、ポピュラー、ジャズなど幅広い楽曲に積極的に取り組んでいる。手作りの小道具やフリップなどを使い音楽を親しみやすく展開していく公演スタイルは、小さい子どもから大人まで好評を得ている。

ピアノの音色とともに心つながる時間をみなさんとの特別なひとときを楽しみにしています



ふじさわ なな

藤澤 菜那

ピアノ



武蔵野音楽大学音楽部、同大学院音楽研究科修士課程修了。オーケストラとの共演やソロリサイタル、声楽・器楽・合唱・室内楽等ソロ、アンサンブル共に力を入れる。毎月の子ども向けコンサートや、iichiko 総合文化センターの感性育成事業等をはじめ児童との作曲、編曲にも携わるなどクラシック音楽とピアノの魅力が伝えられるよう多角的に活動を行う。



第3期

音楽に難しいことは何もありませんただ、上質な音の、声のシャワーを浴びていただきたいです！



よしめ まきこ

嘉日 真木子

ソプラノ



大分県出身。国立音楽大学声楽科卒業。同大学院修了。文化庁派遣新進芸術家海外研修員としてフィレンツェとミュンヘンへ留学。'10年東京二期会《魔笛》で本格的にオペラデビュー。宮本亜門演出《魔笛》のパミーナ、《フィガロの結婚》スザンナなど話題の公演に多数出演。コンサートソリストとしても活躍。アルバム「My favorite songs〜わたしのお気に入り」をリリース。東京二期会会員。

私たちならではの自由に音を楽しむひとときを心を込めた歌とピアノでおとどけます



piarche

ピアーチェ

ソプラノ / ピアノ



大分市出身の幾嶋明日香（ソプラノ）と山田奈津紀（ピアノ）によるグループ。県内にて演奏活動を行う。2017年より毎年親子のためのコンサートを自主公演し好評を得る。コンサートでの演奏ジャンルはクラシックをベースとして多岐に渡り、曲や演目の自主制作も手掛ける。ピアーチェとは〈喜び / 自由に〉という意味を持つ言葉。

「チェンバロってどんな楽器？」「どんな音色？」「ピアノとは違うの？」さまざまな疑問に、名曲の演奏や楽しいトークを交えてお答えします！



おおきた えみこ

大北 絵三子

チェンバロ



宇佐市出身。宇佐高等学校卒業。東京音楽大学音楽学部音楽学科ピアノ専攻卒業。同大学研究生チェンバロ専攻修了。第22回大分県音楽コンクールピアノ部門高校の部に第1位。高校時代にチェンバロに出会い、その繊細な音色と外観に感動し、大学2年時より本格的に学び始める。現在、県内各地にて、多くの方々へチェンバロの魅力を広める活動を行っている。中津市在住。

第1期

私たちアミティエの音楽を笑顔とともにみなさまのもとへおとどけます！



amities

アミティエ

フルート / ギター



2013年に結成したフルート&ギターのデュオグループ。フルートの“けいこさん”こと藤田圭子とギターの“しんちゃん”こと溝口伸一による分かりやすい解説をモットーに、クラシック音楽を気軽に楽しんでもいただけるよう、大分県内を中心に活動中！アミティエとはフランス語で〈友情〉という意味。

魅惑的なオーボエの音色と煌めくトランペットの黄金の響きを聴いて幸せなひとときをお過ごしください！



feliche

フェリーチェ楽団

オーボエ / トランペット



オーボエの大城裕美とトランペットの得丸幸代による世界でも珍しい組み合わせのデュオ。大分市内を中心に、クラシックの名曲から童謡唱歌、オリジナル楽曲や完全即興演奏の音姿〜オトスガタ〜など、これまでに類を見ないコンサートを展開。編曲をすべて独自に手掛けているほか、後進の指導にもあたっている。フェリーチェとはイタリアで〈ごきげんな / 幸せな〉という意味。

心に寄り添う詞、美しい響き、一緒に歌う喜び…魅力が詰まった歌声のパワーをおとどけます



さとう ひろみ

佐藤 広美

ソプラノ



福岡教育大学院演奏学コース修了。アクロス福岡『青少年のための1万人コンサート』、文化庁 / 日本演奏連盟主催『新進演奏家育成プロジェクト オーケストラ・シリーズ』などで九州交響楽団と共演。これまでにベートーヴェン「第九」、バッハ「ヨハネ受難曲」「クリスマス・オラトリオ」、ヘンデル「メサイア」などのソプラノソリストを務める。デヴィ夫人主催「イブラ・グランド・アワード・ジャパン 2023」声楽部門入選。